



「慰安婦」暴言 橋下氏に公人の資格なし 国際社会から強い批判

橋下徹「維新」共同代表の「慰安婦」暴言に、会からの批判が続いています。いつまでも居直
国連事務総長が異例の批判をするなど、国際社 りを続ける橋下氏に、公人の資格はありません。

「見解に納得していない」 橋下氏の発言や釈明について「国際社会、特に戦争で被害を被った国々
潘基文・国連事務総長 が、彼の見解に納得しているとは思えない」（「朝日」6月3日付）

日本政府は「反論を」 橋下氏らの発言を踏まえて、日本政府に次のように勧告しました。「公人
国連拷問禁止委員会 による事実の否定、否定の繰り返しによって、再び被害者に心的外傷を与
える意図に反論すること」（5月31日）

「最も強く非難する」 「戦時中の『性奴隷』は性暴力であり、今日では戦争犯罪と定義されて
ノーベル平和賞受賞の5人の女性 いる」（橋下氏の） 嘆かわしい発言を最も強い言葉で非難する」（5月30日）

「常規を逸している」 「常軌を逸しており無礼だ」「あの時代に女性が性的目的で売買されたの
米務省報道官 は悲しむべきことであり、明らかな人権侵害だ」（5月16日）

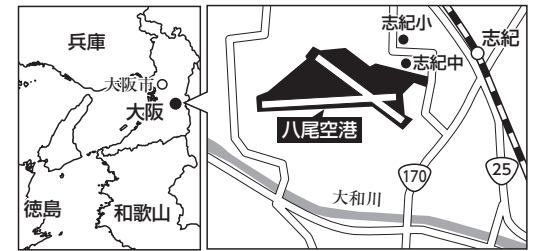
オスプレイ訓練
受け入れ表明



◀オスプレイ

住民を危険にさらす暴挙

八尾空港 1キロ内に11校



オスプレイ訓練の受け入れ先とされた大阪府八尾市の八尾空港。「世界一危険」な普天間基地と同様に住宅密集地にあり、面積はその7分の1。「毎日」（5日付夕刊）によると周囲約1キロ内には小中高校、支援学校が11あり、2002年以降、離着陸の失敗など事故が計5件起きています。

和歌山を經由 低空で訓練

米軍は“全国7ルートで、高度60メートルで飛ぶ訓練をやる”といます。この低空訓練は日本の法律では認められていません。四国から和歌山に抜ける「オレンジルート」での訓練が想定されていますが、和歌山県も八尾市も猛反発しています。

『いま、日本共産党』

反戦平和の歴史に熱い注目 ——志位委員長の本が韓国で出版

「2011年2月、某放送社の取材依頼で代々木にある日本共産党本舎を訪問し、志位委員長との単独インタビューをおこない、植民地支配の韓国・朝鮮の愛国者たちと連帯し、反帝国主義のたたかいを展開し

た初期日本共産党員のみなさんの活動の姿についての雄弁な証言を聞き、『必ず韓国社会にこの政党を紹介する本を翻訳しなければならない』と決意した」（翻訳者のホン・サンヒョン 洪相鉉さん）。